

競技上の注意

第45回全国レディース卓球大会

審判長 鳥崎 さとみ

本大会は現行の日本卓球ルールに基づいて行います。
コロナ渦中の大会なので感染対策を徹底し、ルールを遵守し正々堂々と競技してください。

1、ボール、ラケット、ラバーについて

- ・ 使用球は(公財)日本卓球協会公認の「40mmホワイトボール」を使用する。
- ・ ボール選択はコート内で行う。団体戦では個々の試合ごとに試合球の選択を行う。
- ・ ラケットはJ.T.T.A.A.の刻印及び商標、指定業者の略称とJ.T.T.A.A.の連続刻印がなければならない。
- ・ JTTAが未公認の外国製ラケット本体を使用する場合は、競技開始1時間前までに審判長の許可を得なければならない。
- ・ ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットか競技領域内で手渡されたラケットを使用する。
- ・ ラバーはITTFまたはJTTAが公認したもので、公認マークやメーカーの商標・ロゴ等が確認できるものでなければならない。

2、試合方法について

- ・ 団体戦の第1ステージは全て3ゲームマッチとする。団体戦の第1ステージでは勝敗が決しても5番まで行ない、5番までの成績により順位を決定する。
したがって記録は、5-0(0-5) 4-1(1-4) 3-2(2-3)となる。第2ステージは準々決勝から5ゲームマッチとし3点先取とする。
- ・ 個人ダブルスの第1ステージは3ゲームマッチとし、第2ステージの準々決勝から5ゲームマッチとする。

3、競技服装について

- ・ 競技服装(シャツ、ショーツ、スカート)はJTTA公認マークのついたものを着用すること。
- ・ 団体戦・個人戦ダブルス共に靴及び靴下を除いて同じ服装で競技すること。但し、ショーツとスカートは同系色であれば認める。
- ・ 対戦する競技者は、明らかに異なった色の競技用シャツを着用することを原則とする。似かよった服装で互いに服装を変えることに同意しない場合は、ジャンケンで決める。
- ・ 個人戦においては、競技コートに入った時点で審判が確認することとする。

4、アドバイスについて

- ・ 団体戦ではベンチに入ることを認められた誰からでもアドバイスを受けることができる。
- ・ 個人戦では試合前に登録された一人のアドバイザーからのみアドバイスを受けることができる。
競技者は、それによって競技が遅れなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。

☆ パッドマナー(遅延行為)と判断される場合の例

- ・ ボールを拾いに行く時、ボールのある位置ではなく、明らかに回り道をしてアドバイザーにアドバイスを受けた時。
- ・ アドバイスを受けながら、非常にゆっくり移動し台に戻る時。
- ・ ボールがコート外に出た時、アドバイスを受ける為にアドバイザーの所に行っても良いが相手選手がボールを回収しコートに戻った時、直ちにコートに戻らなかった時。

5、促進ルールについて

- ・ ゲーム開始後10分経過した場合は、促進ルールが適用される。ただし、両競技者または組の

ポイントスコアの合計が18ポイントに達している場合には適用されない。

- ・ 両方の競技者または組から要請があった場合はいつでも適用される。
- ・ 促進ルールが適用された場合は、そのマッチの残りのゲームは促進ルールで行われる。

6、タイムアウトについて

- ・ 団体戦では準々決勝から、また個人戦においては準決勝から適用する。

7、ラケットコントロールについて

- ・ ラバーの張替えは指定された場所で行い、日本卓球協会が公認しているシートまたは接着剤を使用する。
- ・ ラケット検査は、無作為にマッチ前に行います。

8、競技の継続について

- ・ タオルの使用は6ポイント毎及び、最終ゲームのエンドの交代時のみ認める。但し、メガネを拭くための短い休憩についてはこの限りではない。
- ・ 団体戦における全てのマッチは、緊急中断を除き連続的に行われるものとする。
- ・ 次の試合に出場する競技者は事前に服装、ゼッケンなどを準備し遅延なく競技領域に入ることとする。

9、審判について

- ・ 団体戦、個人戦ともに、原則として審判員を配置することとする。

10、表彰

- ・ 第2ステージ(1位トーナメント)の1～3位(ベスト4)まで表彰することとする。

11、その他

- ・ 選手変更届・棄権届は事前に提出して下さい。
- ・ 団体戦においては試合開始時に選手全員(オーダーに記載した選手全員)が揃っていない場合は、棄権扱いとなります。
- ・ 団体戦のオーダーミスはオーダー提出時に確認された場合のみ訂正することができる。その後の訂正はできません。
- ・ オーダー提出はタイムテーブルを確認し、試合開始30分前を厳守とします。
オーダー提出時にユニホームの確認をしますので、着用予定のユニホームを持参下さい。
- ・ 試合進行の都合で、指定コート及び時間を変更する場合があります。
- ・ 競技場(エリア)内での携帯電話の使用は禁止とします。
- ・ カメラ・ビデオ撮影は、許可された報道関係者以外は競技場(エリア)内では使用できません。但し団体戦と個人戦において自チーム・組用として1台のみの使用を認めます。
- ・ フラッシュ撮影は禁止です。
- ・ 競技中に起こった怪我、事故については応急処置を行いますが、一切の責任は負いません。
- ・ 選手は、試合開始前後の手指の消毒、試合中以外のマスクの着用をお願い致します。。
また必要以上に大きな声での声援、喚起の声を出不さないようにお願い致します。